

なかのだより



◆校訓◆ 正しく 明るく たくましく

大阪市立中野小学校 TEL06-6352-3258

6月号

中野のリーダー頑張っています！

今年度も2か月が過ぎました。6年生は、登校班の班長・たてわり班のリーダーとしてよく頑張っています。7日の中野まつりを控え、たてわり班活動でどのチームもお店の準備を進めているところです。給食を取りに来た1年生が、6年生と出会うと自然に手を振って声をかけている姿が見られます。当日の役割分担をして、一人一人が自分の役割に責任をもってやり遂げること、遊ぶときは班のみんなで協力して楽しむこと、そんな活動を通してたてわり班の仲が深まり、学校全体が仲よくなれる 것을期待しています。保護者の方に参加していただけないのは残念ですが、お家で楽しかったこと、頑張ったことなど聞いてあげてください。

先月は、3年ぶりに遠足・社会見学と交通機関を使って校外学習に行きました。どの学年もしっかりとマナーを守って活動できました。写真や映像だけでなく実際に見たり聞いたり感じたりした経験は何ものにも代えがたいです。学習したことを絵に描いたり、新聞やパワーポイントにまとめたりとそれぞれの学年に合わせて取り組んでいます。

また、30度近い真夏日が続いたかと思えば、涼しい日もあり、これから梅雨に入り、雨の日が続くなど、運動場で遊べる日が少なく、湿度が高くなり、健康面・衛生面で特に注意が必要になります。また、プール水泳も始まります。このため、早寝早起き、バランスのとれた食生活などを心がけ、健康管理には十分なご配慮をお願いします。

～スマートフォンやゲームとの付き合い方～

スマートフォンやゲームを使われているご家庭も多いことかと思います。チャットを使った会話やゲームは楽しいものですが、使い方を誤ると思わぬトラブルに発展することがあります。学校でも指導をしてまいりますが、一度、ご家庭で話し合っていただければ幸いです。

学期末個人懇談会

7月11日（月）～14日（木）は学期末個人懇談会です。1学期の間、お子様の頑張りの様子をお話しさせていただきます。6月10日（金）に保護者の方のご予定を聞かせていただきます。ご協力よろしくお願いします。なお、懇談会期間中は4時間授業、給食後下校となりますので、放課後の過ごし方についても、お子様と話をしておいてください。

6月の行事予定

日	曜	学 校 行 事
1	水	歯科検診（1・4年）
2	木	租税教室（6年）③
3	金	林間保護者説明会（16時15分～）
6	月	ろう下階段は歩こう週間 内科検診3年 心臓検診（2次）高倉小
7	火	なかのまつり①～③ 委員会活動
8	水	田植え（5年） 歯科検診（2・6年）
13	月	プール開き 内科検診（5・6年）13:30～
14	火	クラブ活動
15	水	歯科検診（3・5年）
21	火	クラブ活動
28	火	クラブ活動（1学期最終）
29	水	劇鑑賞会

水泳学習が始まります

6月13日（月）より順次、水泳学習が始まります。詳しい時間割等は学年だより等をご確認ください。

衛生面、安全面、感染拡大予防に気を付けながら、指導を行ってまいります。

「水泳の準備をしよう」のお手紙を配付させていただきました。水着、帽子、ゼッケンの準備、よろしくお願いします。プールのある日は、いつも以上に健康観察をていねいにしていただきますよう、お願ひいたします。



劇鑑賞会
「長靴をはいた猫」
を鑑賞します。

7月の行事予定

日	曜	学 校 行 事
5	火	委員会活動
6	水	夢授業ラグビー②③（5・6年）
11	月	個人懇談会（13時半完全下校）
12	火	個人懇談会 千葉すずさん水泳授業②③
13	水	個人懇談会 歯磨き指導（2年）
14	木	個人懇談会
18	月	海の日
19	火	終業式 給食終了、大掃除
20	水	夏季休業（8月25日まで）

※5年林間学習 7月23日（土）～24日（日）

音読ってこんな効果が・・・。

1年生から6年生まで毎日出る宿題「音読」。音読の宿題を聞く時間を忙しい中作り出していただいているありがとうございます。こんないいことがあるんだと知って聞いていただいている子どもたちに励みになる声かけをしていただけたら幸いです。

音読は脳をたくさん刺激する

「音読ってただ声に出して読んでいるだけだと思ったら大まちがい。正しく音読すれば、脳はいろんな場所が刺激を受けて活発に動きます。人は脳がそうやってフル回転している時に様々な能力がぐんと伸びるので」と脳科学者の方もおっしゃっています。具体的に説明します。

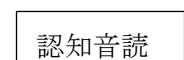
- ① 視覚・・・目で文字を見る。
- ② 運動・・・口を動かして声に出す。
- ③ 聴覚・・・自分の声を耳で聞く。



○脳は、「字を見ること」「口を動かすこと」「自分が発したことばを聞くこと」で刺激を受けます。

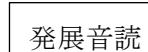
この第1段階は「書かれた文字をただ声に出している状態とも言えます。

- ④ 記憶・・・読んだ言葉が脳にインプットされる。
- ⑤ 伝達・・・人に伝わるように読める。



○感覚音読で呼んだ文字をことばとして脳にインプットし、人に伝わるようにアウトプットする、音読の第2段階です。感覚音読の刺激が情報となって、スムーズに読めるように働きます。

- ⑥ 理解・・・文章の意味がきちんと分かる。
- ⑦ 思考・・・文章の内容を考える。
- ⑧ 感情・・・文章の内容を味わう。



○認知音読で脳が受け取った情報を処理する。つまり文章を意味のあるものとして理解し、内容について考えたり、味わったり共感したりする段階です読解力のつく効果的な音読の仕方です。

「音読しても内容が頭に入ってこない」という場合は、声を出すことに意識がいきすぎて伝達系の働きが強く自分の声を聞いて頭に入れる聴覚・記憶系の働きが弱いのかもしれません。自分の声をしっかり聞く練習を繰り返せば、正しい音読ができるようになります。

効果的な音読の方法

- ① なるべく短い文章を読む。

音読を習得するためには、短い文章を選ぶのがおすすめです。ことわざや格言、詩、短歌や俳句は短いけれど味わい深いものです。何度も繰り返して情景をイメージするとさらに効果的。短文でも内容を理解して考えたり味わったりすれば発展音読に近づきます。

- ② 読むときは助詞を意識する。

「春休みは家族と旅行に行く」の「は」「と」「に」のような助詞を○で囲むと、名詞と助詞の区切りが目で見て分かり、単語が頭に入りやすくなります。さらに読むときは意識してゆっくり強めに声に出すと文章を耳でとらえながら意味を理解できます。

- ③ 会話が広がる問い合わせをする。

読み聞かせ同様、音読も自由に親子の会話を広げてみましょう。「主人公の○○くんは、どうしてすぐに怒っちゃうのかな?」「もし、これが本当にあったら、どうする?」など。子どもが自由に考えを深められる問い合わせは、音読の内容を豊かに広げてくれます。

このようなポイントを押さえて少しづつ文章が自分のものになるようサポートしてみましょう。何度も繰り返すうちに暗唱できることもありますね。暗唱することで、読解力もアップするそうです。

毎日音読することがこんなに脳に働きかけていたなんてと今さらながらびっくりしました。(宿題にしておいてすみません)「小学生の時、もっと真剣にきいてやればよかつたなあ」とわが子の宿題のことを反省しています。この記事を読んで少しでも参考にしていただければ幸いです。

(AERA with Kids の加藤俊徳(脳科学者、小児科医)先生の記事より抜粋)